

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
	保育内容（人間関係） Contents of Child Care and Education (Human Relations)	井手裕子		専門		必修	2年前期

科目の概要

保育園での養護および幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定した指導案を作成し保育を構想する方法を身に付ける。特に保育内容の領域「人間関係」について、子どもの社会性の発達過程について、心理的な側面と教育的な側面から理解する。人間は、人や自然との関わりの中で生きていることを情報機器の活用を通し伝える方法を学ぶ。特にその中で人間関係の中で、社会性を養い、人間社会の生き方を学んでいく。保育所・幼稚園でも、そうした力の基礎を育てていく必要がある。そこで、この授業では、子どもの社会性の発達についての基本的知識を理解し、保育者がクラスづくりや集団遊びを進め、子どもの人間関係をつくる力を育てる上で、必要な知識や実践的方法(指導計画作成・実践法)を身に付ける。

学修内容	到達目標
①乳幼児の遊びの発達と、それに伴う大人との関係、子ども同士の関係について理解を深める。 ②保育現場の実践例を基に幼児の仲間づくりについて学ぶ。 ③幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領にみられる人間関係について学ぶ。 ④乳幼児の発達と人間関係の広がりについて学ぶ。	①各領域のねらい及び内容 一般目標：幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を説明できる。 到達目標：... 1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容を説明し理解し説明できる。2) 当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を説明できる。3) 幼稚園教育における研鑽の考え方を理解し説明できる。4) 領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解し説明できる。 ②保育内容の指導方法と指導者の構想 一般目標：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して指導案作成や計画指導を構想できる。 到達目標：... 1) 幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を説明できる。2) 各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用方法を理解し、保育の構想に活用することができる。3) 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。遅刻、居眠りを注意されないようにする。(注意された回数により減点あり)
	働きかけ力	
	実行力	学修内容が十分に理解できるように積極的に取り組むことができ、事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	学修した内容についての問題点を認識できる。
	計画力	
	創造力	事学修した内容を実際にどのように応用し役立てていくかを想像し、それを土台とした自らの新しい発想を通して考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を具体的に分かりやすく発表することができる。
	傾聴力	私語をせず、発表者の意見を、自分の立場に置き換え、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席をしない。他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。資料を随時配布する。参考文献：授業の中で紹介する。
参考文献：幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説平成30年3月（最新版）、幼稚園教育要領解説平成30年3月（最新版）、保育所保育指針解説平成30年3月（最新版）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育の心理学、幼児理解、教育心理学
資格との関連：幼稚園教諭二種免許、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
理論と実践が結びつけられるようにしてほしい。そのため、まず知識を得ること、次に実習を行い、知識がどのように実習に生かされたかを確認すること。その繰り返しを行うことで、実際の保育場面において、実践が可能となる。	業は集中して聞き、疑問がある場合は積極的に質問すること。 ・20分を超えた遅刻は欠席扱いとする。 ・授業態度が悪い場合（居眠り、私語、周囲に迷惑をかける行為等）はマイナス扱いとすることがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト			①				
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート			10		①	✓	・授業の前半と後半でそれぞれ課題を出し、「授業で学習した内容の理解度」「授業で学習した内容を応用できるか」「自身の見解を論理的な文章で論じることができる」について評価する。 ・課題は「乳幼児の発達と人間関係の発展」「実践記録から、人間関係の発達をきちんと読みとる」「乳幼児の社会性の発達の理解」「人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援」「乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわり」など。
							②	✓	
							③		
							④		
							⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	・課題や疑問に対し能動的に学修を進めることができる。 ・与えられた課題に積極的に取り組むことができる。 ・学修した内容の問題点を認識できる。 ・学修した内容を応用できるように創造できる。 ・自分の意見を具体的にわかりやすく相手に伝えることができる。 ・私語をせずに人の話を聞き、メモをとることができる。 ・他人に迷惑をかけずに、集団のルールを守ることができる。			
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤	✓				
総合評価 割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・乳幼児の発達と人間関係の発展が実践例も参考にしながらしっかり理解できる。 ・保育としての「人間関係」の概要を理解できる。 ・遊びと人との関わりについて理解できる。 ・授業で学んだことを応用し、保育の実践現場で生かす事例を具体的に表現できる。 総合評価90点以上S, 89~80A	・乳幼児の発達と人間関係の広がりが見える。 ・保育としての「人間関係」の概要を理解できる。 ・遊びと人との関わりについて理解する。 総合評価79~70B, 69~60C

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業のねらいと内容について理解する。保育内容人間関係の概要について学ぶ。	講義	授業のねらいが理解できる。保育内容(人間関係)の概要について理解できる。	復習:保育内容(人間関係)の概要について復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
2週 /	乳幼児の社会性の発達について学ぶ。幼児期の社会的隔離と野生児研究について学ぶ。	講義・演習	乳幼児の社会性の発達について理解できる。幼児期の社会的環境の重要性が理解できる。	復習:乳幼児の社会性の発達と幼児期の社会的環境について復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
3週 /	人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援について学ぶ。	講義・演習	人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援が理解できる。	復習:幼児の遊びと発達と児期の発達支援について復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	非言語サインとコミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習	非言語サインの意味が理解できる。非言語コミュニケーションのやりとりができる。	復習:非言語コミュニケーションの内容を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	遊びと人の関わりからみた幼児の社会性の発達について学ぶ。社会的生活習慣について学ぶ。	講義・演習	遊びと人の関わりからみた幼児の社会性の発達が理解できる。幼児の社会的生活習慣の重要性が理解できる。	復習:幼児の社会性の発達と社会的生活習慣について復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて学ぶ。	講義・演習	幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて理解できる。	復習:幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	内発的動機付けと外発的動機付けについて学ぶ。子どもが成長発達をしていくための課題設定や支援の方法を学ぶ。	講義・演習	内発的動機付けと外発的動機付けについて理解できる。子どもが成長発達をしていくための課題設定や支援の方法を理解できる。	復習:動機づけについて復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	保育者と子ども、子ども同士の関わりについて学ぶ。前半の授業内容を総括しまとめる。	講義・演習	保育者と子ども、子ども同士の関わりについて理解できる。	復習:前半の授業内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説書』にみる「人間関係」について学ぶ。	講義 グループ討議 発表	人間関係に関する記述を比較しながら理解できる。	予習：人間関係に関わる部分を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	「幼保連繋型認定こども園教育保育要領」に記されている「人間関係」について学ぶ。	講義 グループ討議 発表	領域「人間関係」への理解を深める。	復習：幼稚園、保育園、認定こども園の「人間関係」に関わる規定を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	乳幼児の発達と、それに伴うおとなとの関係、子どもどうしの関係の広がり、遊びの発達について視聴覚教材を活用し系統立てて学ぶ。指導案作成し模擬保育を行う	講義 グループ討議 発表	遊びの発達と人間関係の広がりについて理解できる。視聴覚教材を活用した方法を学ぶ。指導案作成し模擬保育を行う。	復習：配布された資料を読み直し、発達と人間関係の広がりについて整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	実践例（DVD視聴）を基にしながら、保育所における3歳未満児の人間関係について理解する。指導案作成し模擬保育を行う	講義 グループ討議 発表	3歳未満児の人間関係について理解し、幼児理解を深め、指導計画を作成し、模擬保育を行う。	復習：資料を再度読み、ポイントをまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	実践例（DVD視聴）を基にしながら、保育所における3歳以上児の仲間づくりについて考える。指導案作成し模擬保育を行う	講義 グループ討議 発表	3歳以上児の人間関係の発達、仲間づくりについて理解し、幼児理解を深め、指導計画を作成し、模擬保育を行う。	復習：資料を再度読み、ポイントをまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	幼稚園における人間関係に焦点を当てた教育課程と、それに基づく実践例を読みながら、人間関係の発達に関する理解を深める。	講義 グループ討議 発表	教育課程とそれに基づく実践例から、人間関係の発達が理解できる。	復習：資料を基に、学んだことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	幼稚園の実践例の検討を通して、後半のまとめをする。	講義 グループ討議 発表	幼・保における子どもの人間関係の発達と保育者の関わりへの理解を深める。	復習：後半のまとめとレポートを書く。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力